

特定非営利活動法人 日本免疫学会
平成 25 年度前期 **Tadamitsu Kishimoto International Travel Award**
研究発表報告書

申請者氏名	小林 俊彦	会員番号	0024070
申請者の 所属・職名	国立国際医療研究センター研究所 分子炎症制御プロジェクト	上級研究員	
出席会議名	‘IMMUNOLOGY 2013’ 100 th Annual Meeting of American Association of Immunologists		
発表論文 タイトル	Lysosomal transporter SLC15A4 regulates Toll-like receptor 7/9-mediated antibody production		

実施結果:

はじめに、この度 Tadamitsu Kishimoto International Travel Award を頂いたことをこの場を借りて深謝いたします。

私は2013年5月3日から7日まで、アメリカハワイ州のホノルルにおいて開催されたアメリカ免疫学会(AAI Annual Meeting)に参加し、“Lysosomal transporter SLC15A4 regulates Toll-like receptor 7/9-mediated antibody production”という演題にてポスター発表して参りました。本学会は今回で100回目となる節目を記念してハワイという風光明媚な立地で行われましたが、学会の内容は南国のゆるやかな気候とは違って、最先端の研究結果を含むエキサイティングな発表が多く見られました。私が大学院生時代から取り組んでいる自然免疫学の分野では、TLR7のプロテアーゼによる活性制御やTLR応答とオートファジー活性化の関係など、これまで明らかにされてきた自然免疫の大きな枠組みから、より詳細な機構や生理学的な意義に焦点をあてた解明が進んでいる印象を受けました。また、100回記念としてのこれまでの免疫学の歩みを総括したトークは免疫学の歴史を知るよい機会となりました。

また、学会会場では前任地であるRockefeller大学の元同僚達と意見交換を行うなど、異なった視点からのアドバイスをもらうことができました。

今後も、B細胞における自然免疫応答と自己免疫疾患との関係について世界に発信していきたいと考えています。